

# 元気で躍進 地域経済

## 中小企業応援士に委嘱

中小 県内で唯一、山川社長（三重）に

松阪市大口町の医療機

器・保冷剤・作業用手袋

メーカー・三重化学工業

株の山川大輔代表取締役

社長（44）が独立行政法

人中小企業基盤整備機構

（中小機構、本部は東京

都）の2022（令和4）

年度中小企業応援士に県

内でただ一人委嘱され

た。15日午前10時半に同

機構中部本部（名古屋市

から茂木文雄本部長（60

）ら5人が同社を訪れ、山

川さんに委嘱状を手渡し

た。任期は24（同6）年

3月31日まで。

同機構は国の中小企業

政策の中核的な実施機関

で、04（平成16）年に旧・

中小企業総合事業団と

旧・地域振興整備公社  
旧・産業基盤整備基金の  
3 特殊法人が統合して設

立。地域の自治体や政府  
系機関と連携しながら中  
小企業の成長をサポート



している。  
中小企業応援士の制度  
は、さまざまな課題を抱  
える中小・小規模事業者  
を、各地で活躍する経営  
者や地域支援機関と共に  
応援する仕組みとして19  
（令和元）年度に創設さ  
れた。

同機構の支援事業を活用  
したのがきっかけで、同  
機構でも地域の中小企業  
としての同社の躍進ぶり  
に注目。今回「中小企業  
者の活躍及（およ）び地  
域の発展に大いに貢献さ  
れました」として機構の  
豊永厚志理事長から感謝  
状が贈られるとともに、  
中小企業応援士に委嘱さ  
れた。

個人などを巻き込んで連  
携するオープンイノベー  
ションの枠組みとして  
「ミエラボ」を創設。今  
年2月には新社屋内にミ  
エラボのためのオープン  
スペースを設けた。感謝  
状の贈呈と委嘱状の交付  
は、このミエラボで行わ  
れた。

何とか生き残っている企  
業が多い。もっと連携し  
ていいのではないかと思  
っている。いろんな所と  
連携して商品開発をした  
り、情報交換したりする  
場をこうして作っている  
ので、まずは松阪周辺か  
ら中小企業を巻き込みな  
がら、共に発展していけ  
るよう応援士としての役  
割を果たしていきたい」  
と意気込みを語った。  
また茂木さんは「海

外展開など」いろいろな  
事業展開を構想されてい  
ると聞いたが、少子高齢  
化の中で生き残っていく  
中小企業モデルとなる  
ような取り組みに期待し  
ている」と話した。  
同機構では本年度、全  
国の経営者41人に対して  
中小企業応援士の委嘱を  
行い、現在、全国で23  
2人が活動。県内では山  
川さんが4人目となっ  
た。

同社は18（平成30）年  
には経産省の地域未来牽  
引（けんいん）企業、  
20（令和2）年には  
中小企業庁の「はば  
たく中小企業・小規  
模事業者300  
社」、今年3月には  
県の「三重のおもて  
なし経営企業選」に  
選定されている。  
昨年、同社が主力  
製品の1つである作  
業用手袋の営業戦略  
を見直すに当たって

委嘱状を持つ山川社  
長（右）と茂木本  
部長は大口町の三重化  
学工業本社で